慣用句(上級)プリント1（ルビつき） No.27（ルビつき）

なまえ

答えの 選択肢の ○を 1つだけ ぬる。
まちがえたら けしゴムで けす。

出席番号　　必要な人は書く

問1 実力以上の高級車を買って(　)を張る。(　)に入る言葉はどれですか？

- ○ 自慢
- ○ 格好
- ○ 体裁
- ○ 見栄

問2 その噂は私の(　)に触れた。(　)に入る言葉はどれですか？

- ○ 耳朶
- ○ 口角
- ○ 眼球
- ○ 鼻腔

問3 「目をかすめる」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

- ○ 目をかすめるほどの速さで、彼は走り去った。
- ○ 強い風が吹いて、砂が目をかすめて痛い。
- ○ 先生の目をかすめて、授業中に手紙を回した。
- ○ 飛んできたボールが、間一髪で目をかすめた。

問4 「腕に覚えがある」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

- ○ 腕に覚えがあるほど重い荷物を持った。
- ○ 長年修行したので、腕に覚えがある。
- ○ 転んで腕に覚えがある傷ができた。
- ○ 腕に覚えがある人は、筋肉痛になりやすい。

問5 「手を引く」の意味はどれですか？

- ○ 関与していた物事から関係を断つ
- ○ 相手を無理やり自分のほうへ連れてくる
- ○ 自分の利益のために他人を操る
- ○ 困っている人に自分から助けを差し伸べる

問6 強大な敵の前に、ついに(　)を屈することになった。(　)に入る言葉はどれですか？

- ○ 肘
- ○ 脚
- ○ 膝
- ○ 腕

問7 「骨を埋める」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

- ○ 彼は骨を埋めるほど、深く穴を掘り進めた。
- ○ 庭に骨を埋める場所がないので困っている。
- ○ 骨を埋めるような重労働はもう辞めたい。
- ○ この会社に骨を埋める覚悟で全力を尽くすつもりだ。

問8 「逆鱗に触れる」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

- ○ 彼は逆鱗に触れるほど、とても穏やかな性格だ。
- ○ 会議で社長の逆鱗に触れるような発言をしてしまった。
- ○ 逆鱗に触れることで、ようやく自分の間違いに気づいた。
- ○ 魚の逆鱗に触れると、鋭いトゲが刺さって痛い。

問9 「口を開く」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

- ○ 事件について、容疑者がようやく口を開いた。
- ○ 食べ物を飲み込むために、口を開いた。
- ○ 歯科検診のために、医師に言われて口を開いた。
- ○ あくびをする時に、大きく口を開いた。

問10 「尻に火がつく」の意味はどれですか？

- ○ 誰かに追いかけられて逃げ回る
- ○ お尻のあたりが熱くて火傷しそうになる
- ○ 物事が差し迫ってきて、落ち着いていられなくなる
- ○ 自分の失敗を隠すために慌てふためく

QRを 読んで 答え合わせ
答案を 撮って 自動採点
点数は マイページに ためよう